

2020年10月6日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]SBI インシュアランスグループ
シリーズアンケート③

“コロナ禍で変化した意識・行動”に関する調査を実施 ～家族と話し合いをした人は約7割、“死”について意識した人は半数近く～

SBI インシュアランスグループの事業会社6社は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う行動様式・生活の変化を調査するため、各事業会社の特性に合わせたアンケート調査を実施しました。

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新村 光由、以下「当社」）では“コロナ禍で変化した意識・行動”に関するアンケート調査を実施し、1,127名の方から回答を得ました。概要は以下の通りです。

【調査結果のサマリー】

●**新型コロナウイルスの流行下で、約7割の人が心配なことは「自分自身、もしくは家族が感染すること」。**（別紙P1）

新型コロナウイルスの流行下で心配なことを聞いたところ、上位2項目が「自分自身が新型コロナウイルスに感染すること（73.8%）」「家族が新型コロナウイルスに感染すること（69.2%）」と、感染への心配がいずれも約7割の結果でした。

地域別にみると、東北地方では選択項目の約7割で最多の回答があり、新型コロナウイルスによる影響を最も心配している傾向がうかがえました。

●**60歳以上では「キャッシュレス決済」「通信販売の積極的な利用」が進む一方で、コミュニケーションはオンラインより対面を重視か。**（別紙P3）

新型コロナウイルスをきっかけに、60歳以上では「キャッシュレス決済（22.6%）」「通信販売の積極的な利用（13.2%）」を始めた人が他の世代より多い結果となりましたが、「スマートフォン、パソコンなどの新規購入・買い替え（3.0%）」はあまり行われていない様子がうかがえました。

また、「コミュニケーション機会の減少」を最も心配していたのは60歳以上（23.8%）でしたが、「リモートイベント、テレビ電話の利用（5.1%）」を始めた人が少ないことから、60歳以上ではオンラインよりも対面によるコミュニケーションを重視しているのではないかと推測されます。

●**新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合いをした人は約7割。「感染予防対策について」話し合った人は約半数。**（別紙P4）

新型コロナウイルスをきっかけに家族と話し合ったことを聞いたところ、69.0%の人が何かしらの話し合いをしたという結果になりました。

最も多く話し合われたのは「感染予防対策について（46.0%）」で、次いで「健康管理について（28.5%）」でした。

●**新型コロナウイルスをきっかけに、自分自身もしくは家族の“死”を意識した人は半数近く。**（別紙P4～5）

新型コロナウイルスをきっかけに自分自身、もしくは家族の“死”について意識したと回答した人は44.3%と全体の半数近くとなり、「自分自身の最期（看取り）」について家族と話し合った人のうち92.3%の人が自分自身の死を意識していました。

Press Release

- 保険（死亡保険、医療保険）に対する意識は年齢層により差。**
20代は「保険料を今より抑えたい」、60代は「現状に見合った保険に新たに加入しようと思った」。
 （別紙 P6～7）
 保険（死亡保険・医療保険）に対する考え方に変化があったと回答した人の理由を項目・年齢別にみると「保険料を今より抑えたいと思った」は20代の36.0%、「現状に見合った保険に新たに加入しようと思った」は60代の39.8%が最多となりました。
- 新型コロナウイルスによる変化は女性に多くみられ、感染予防対策にも積極的な傾向**（別紙 P7～8）
 全質問をとおして、新型コロナウイルスをきっかけとした意識・行動の変化や、感染予防対策への積極的な傾向が男性に比べて女性に多くみられました。

【調査概要】

調査タイトル	“コロナ禍で変化した意識・行動”に関する調査
調査期間	2020年9月1日（火）～2020年9月8日（火）
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	全国の20歳以上の男女
有効回答数	1,127名

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

- 会社名 : SBI いきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介 : 当社は、東証一部上場「SBIホールディングス（株）」のグループ会社です。
 「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客様の声に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の高齢化や病気・ケガが気になる飼い主様に、幅広く支持されています。2019年10月より地震補償保険の販売も開始しました。
- 所在地 : 東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日 : 2007年7月3日
- 資本金 : 36,000千円
- 事業内容 : 少額短期保険業
 （販売商品：SBI いきいき少短の死亡保険、SBI いきいき少短の医療保険、
 SBI いきいき少短の持病がある人の死亡保険、
 SBI いきいき少短の持病がある人の医療保険、
 SBI いきいき少短のペット保険、SBI いきいき少短の地震の保険）
- U R L : <https://www.i-sedai.com>

【お問い合わせ先】

SBI いきいき少額短期保険株式会社 コミュニケーションデザイン部
 TEL : 03 (6856) 4537 / E-MAIL : ikiiki_pr@i-sedai.com

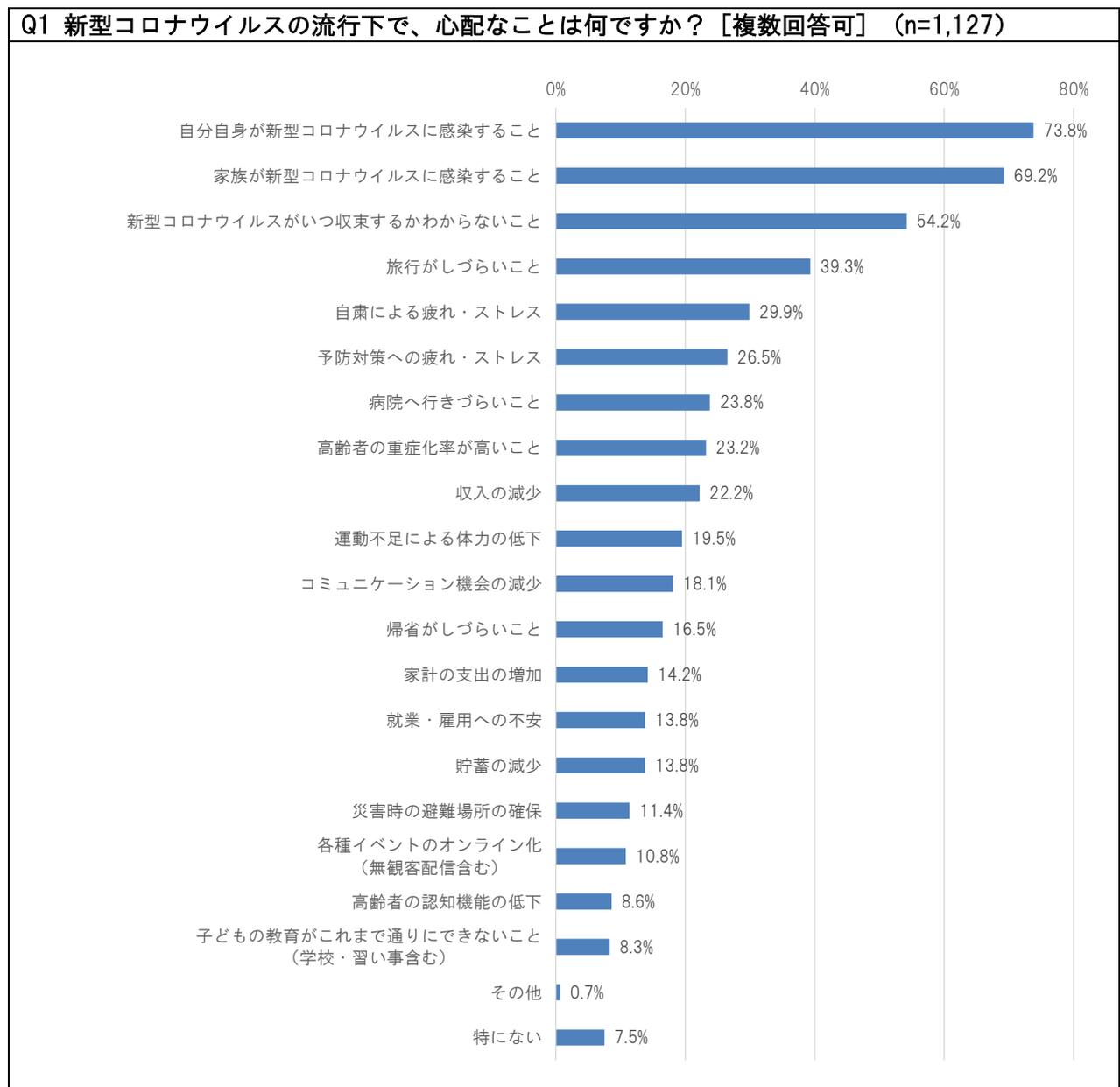
(別紙)

■ “コロナ禍で変化した意識・行動”に関する調査結果の詳細

※以降の一覧表において、最も高い比率にピンク、最も低い比率に水色をマークしている。

(1) 新型コロナウイルスの流行下で、約7割の人が心配なことは「自分自身、もしくは家族が感染すること」。(Q1 参照)

新型コロナウイルスの流行下で心配なことを聞いたところ、上位2項目は「自分自身が新型コロナウイルスに感染すること(73.8%)」「家族が新型コロナウイルスに感染すること(69.2%)」と、感染への心配がいずれも約7割の結果となった。



■地域別の特徴

選択項目の約 7 割で東北地方の回答率が最も高く、心配の傾向が強い結果となった。四国地方では少ない傾向。

		北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
Q1 新型コロナウイルスの流行下で、心配なことは何ですか？		n 60	73	461	171	240	55	30	97
	自分自身が新型コロナウイルスに感染すること	65.0%	78.1%	69.6%	68.4%	72.5%	74.5%	46.7%	71.1%
	家族が新型コロナウイルスに感染すること	66.7%	82.2%	66.4%	62.0%	64.2%	76.4%	43.3%	60.8%
	新型コロナウイルスがいつ収束するかわからないこと	48.3%	61.6%	51.8%	52.0%	52.1%	56.4%	33.3%	44.3%
	自粛による疲れ・ストレス	20.0%	31.5%	29.5%	31.0%	24.2%	36.4%	26.7%	27.8%
	予防対策への疲れ・ストレス	20.0%	31.5%	25.2%	27.5%	24.2%	30.9%	16.7%	21.6%
	災害時の避難場所の確保	8.3%	16.4%	9.8%	10.5%	9.6%	12.7%	10.0%	16.5%
	病院へ行きづらいこと	20.0%	27.4%	24.3%	19.3%	22.5%	16.4%	16.7%	23.7%
	運動不足による体力の低下	13.3%	17.8%	23.6%	12.3%	16.7%	20.0%	26.7%	10.3%
	子どもの教育がこれまで通りにできないこと(学校・習い事含む)	5.0%	4.1%	9.8%	6.4%	8.8%	5.5%	6.7%	5.2%
	高齢者の重症化率が高いこと	28.3%	31.5%	20.6%	19.3%	22.5%	21.8%	13.3%	23.7%
	高齢者の認知機能の低下	8.3%	11.0%	7.8%	5.8%	9.2%	5.5%	13.3%	9.3%
	コミュニケーション機会の減少	16.7%	30.1%	18.2%	15.8%	14.6%	16.4%	6.7%	15.5%
	各種イベントのオンライン化(無観客配信含む)	11.7%	11.0%	11.5%	12.3%	7.1%	14.5%	3.3%	7.2%
	旅行がしづらいこと	43.3%	47.9%	34.7%	42.1%	34.2%	47.3%	26.7%	35.1%
	帰省がしづらいこと	15.0%	15.1%	18.0%	17.0%	11.3%	14.5%	10.0%	16.5%
	就業・雇用への不安	15.0%	17.8%	14.3%	15.8%	9.6%	10.9%	3.3%	11.3%
	収入の減少	23.3%	27.4%	21.0%	25.7%	21.3%	12.7%	10.0%	14.4%
	家計の支出の増加	18.3%	17.8%	13.4%	11.1%	14.6%	10.9%	10.0%	11.3%
	貯蓄の減少	15.0%	19.2%	13.0%	14.0%	14.2%	5.5%	6.7%	10.3%
	その他	0.0%	0.0%	4.8%	15.8%	2.9%	0.0%	0.0%	9.1%
	特にない	13.3%	5.5%	6.9%	5.8%	6.3%	3.6%	13.3%	9.3%

■年齢別の特徴

「新型コロナウイルスがいつ収束するかわからないこと」「旅行がしづらいこと」「高齢者の重症化率が高いこと」は年齢が上がるにつれて、心配が増す結果となった。

※赤枠についてはP3 参照

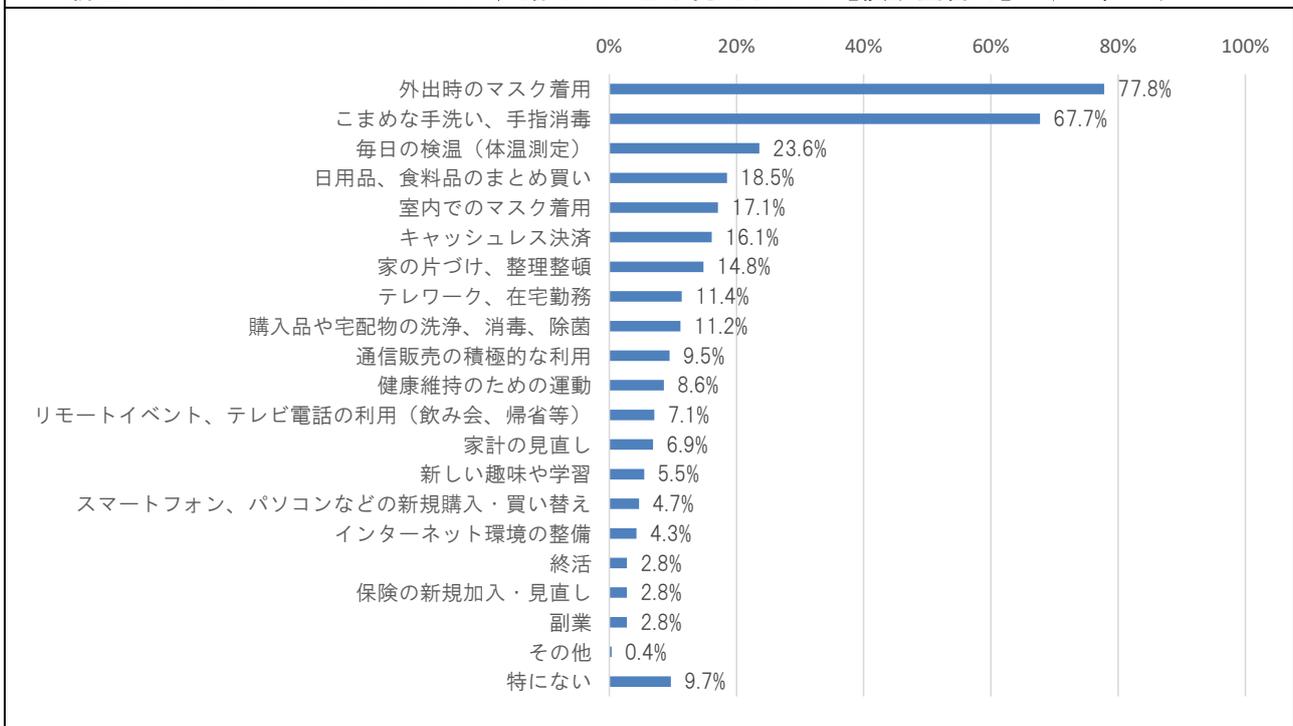
年齢	n	自分自身が新型コロナウイルスに感染すること	家族が新型コロナウイルスに感染すること	新型コロナウイルスがいつ収束するかわからないこと	旅行がしづらいこと	自粛による疲れ・ストレス	予防対策への疲れ・ストレス	病院へ行きづらいこと	高齢者の重症化率が高いこと	収入の減少	運動不足による体力の低下
20歳～29歳	219	62.4%	53.7%	45.0%	30.1%	30.1%	21.1%	15.7%	7.0%	17.7%	10.0%
30歳～39歳	234	71.4%	68.0%	53.0%	35.9%	32.1%	26.5%	23.9%	12.8%	25.7%	20.1%
40歳～49歳	209	69.3%	68.4%	54.3%	40.8%	38.5%	32.2%	25.5%	25.2%	26.8%	23.5%
50歳～59歳	230	79.1%	80.9%	56.6%	44.4%	26.5%	25.2%	24.0%	28.3%	23.1%	19.6%
60歳以上	235	86.0%	74.5%	61.8%	45.1%	23.4%	28.1%	29.4%	42.2%	17.9%	24.3%
年齢	n	コミュニケーション機会の減少	帰省がしづらいこと	家計の支出の増加	就業・雇用への不安	貯蓄の減少	災害時の避難場所の確保	各種イベントのオンライン化(無観客配信含む)	高齢者の認知機能の低下	子どもの教育がこれまで通りにできないこと(学校・習い事含む)	
20歳～29歳	219	12.1%	8.6%	9.6%	12.3%	10.5%	5.1%	10.1%	3.7%	3.7%	
30歳～39歳	234	15.8%	19.7%	15.4%	19.7%	13.7%	14.1%	11.6%	5.2%	13.7%	
40歳～49歳	209	22.1%	22.6%	19.9%	21.6%	16.3%	16.6%	12.5%	12.2%	16.4%	
50歳～59歳	230	17.0%	20.0%	14.4%	12.2%	18.3%	9.1%	10.9%	10.5%	6.1%	
60歳以上	235	23.8%	12.0%	12.4%	4.3%	10.7%	12.8%	9.4%	11.9%	2.1%	

Press Release

(2) 新型コロナウイルスをきっかけに、60歳以上で「キャッシュレス決済」「通信販売の積極的な利用」が進む一方、コミュニケーションはオンラインより対面を重視か。(Q2 参照)

新型コロナウイルスをきっかけに始めたことを聞いたところ、「外出時のマスク着用 (77.8%)」「こまめな手洗い、手指消毒 (67.7%)」に取り組んでいる人が多い結果となった。

Q2 新型コロナウイルスをきっかけに、始めたことは何ですか？ [複数回答可] (n=1,127)



■年齢別の特徴

60歳以上では「キャッシュレス決済 (22.6%)」「通信販売の積極的な利用 (13.2%)」(※ともに赤枠)を始めた人が他の世代より結果となったが、「スマートフォン、パソコンなどの新規購入・買い替え (3.0%)」(※黄枠)はあまり行われていない様子が見えたと。

【Q1 心配なこと】では「コミュニケーション機会の減少」を最も心配していたのが60歳以上(23.8%)だったが、「リモートイベント、テレビ電話の利用 (5.1%)」(※青枠)を始めた人が少ないことから、60歳以上ではオンラインよりも対面によるコミュニケーションを重視しているのではないかと推測される。

年齢	n	外出時のマスク着用	こまめな手洗い、手指消毒	毎日の検温 (体温測定)	日用品、食料品のまとめ買い	室内でのマスク着用	キャッシュレス決済	家の片づけ、整理整頓	テレワーク、在宅勤務	購入品や宅配物の洗浄、消毒、除菌	通信販売の積極的な利用
20歳～29歳	219	68.8%	57.9%	19.0%	17.8%	21.8%	12.8%	13.1%	10.0%	11.4%	7.7%
30歳～39歳	234	71.4%	62.8%	25.3%	22.2%	21.8%	12.8%	14.6%	17.1%	9.8%	8.6%
40歳～49歳	209	76.9%	70.1%	20.2%	16.6%	18.1%	15.9%	15.2%	13.7%	9.4%	8.3%
50歳～59歳	230	84.8%	75.2%	23.9%	14.0%	12.7%	16.6%	13.5%	10.5%	12.2%	9.6%
60歳以上	235	86.8%	72.4%	29.0%	22.2%	11.5%	22.6%	17.9%	5.5%	13.2%	13.2%
年齢	n	健康維持のための運動	リモートイベント、テレビ電話の利用 (飲み会、帰省等)	家計の見直し	新しい趣味や学習	スマートフォン、パソコンなどの新規購入・買い替え	インターネット環境の整備	終活	保険の新規加入・見直し	副業	
20歳～29歳	219	7.2%	5.4%	8.1%	5.9%	4.6%	3.2%	2.7%	4.6%	5.5%	
30歳～39歳	234	11.1%	8.1%	7.7%	6.0%	6.9%	6.0%	2.6%	3.4%	3.9%	
40歳～49歳	209	8.2%	9.5%	6.9%	5.3%	6.2%	5.7%	2.5%	2.5%	1.9%	
50歳～59歳	230	6.5%	7.4%	7.0%	5.7%	3.1%	3.0%	0.5%	2.2%	2.6%	
60歳以上	235	9.8%	5.1%	5.1%	4.7%	3.0%	3.4%	5.6%	1.7%	0.5%	

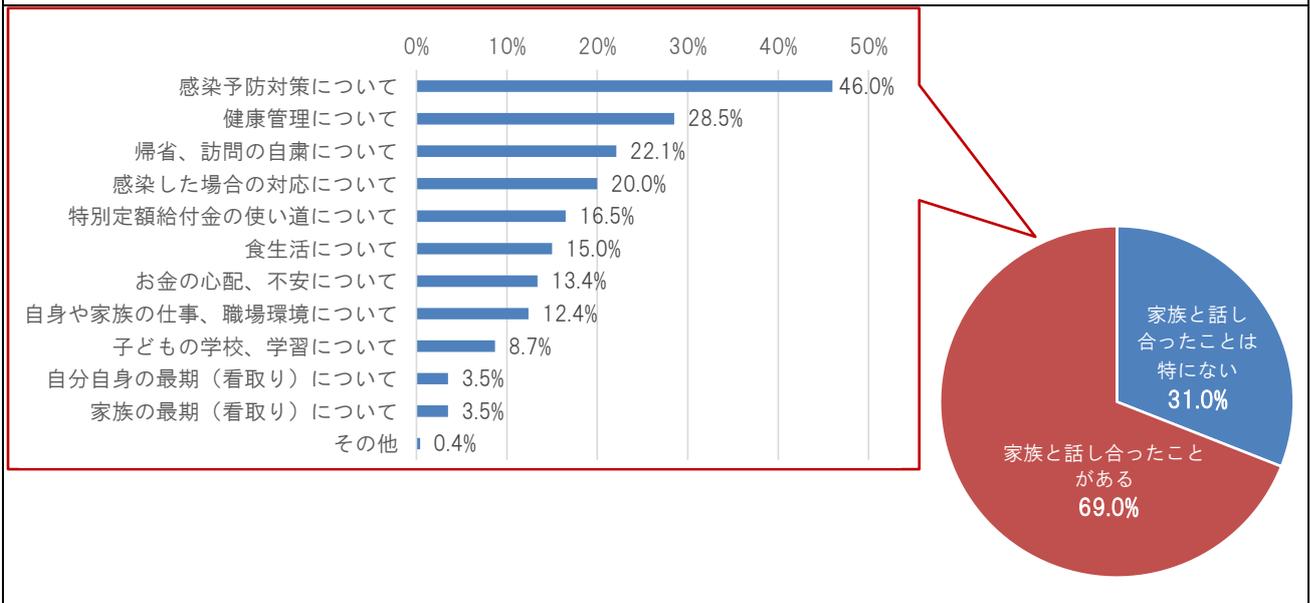
(3) 新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合いをした人は約7割。

「感染予防対策について」話し合った人は約半数。 (Q3 参照)

新型コロナウイルスをきっかけに家族と話し合ったことを聞いたところ、約7割の人が何かしらの話し合いをしたという結果になった。

最も多く話し合われたのは「感染予防対策について(46.0%)」、次いで「健康管理について(28.5%)」となった。

Q3 新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合ったことは何ですか？
【複数回答可】 (n=1,127)

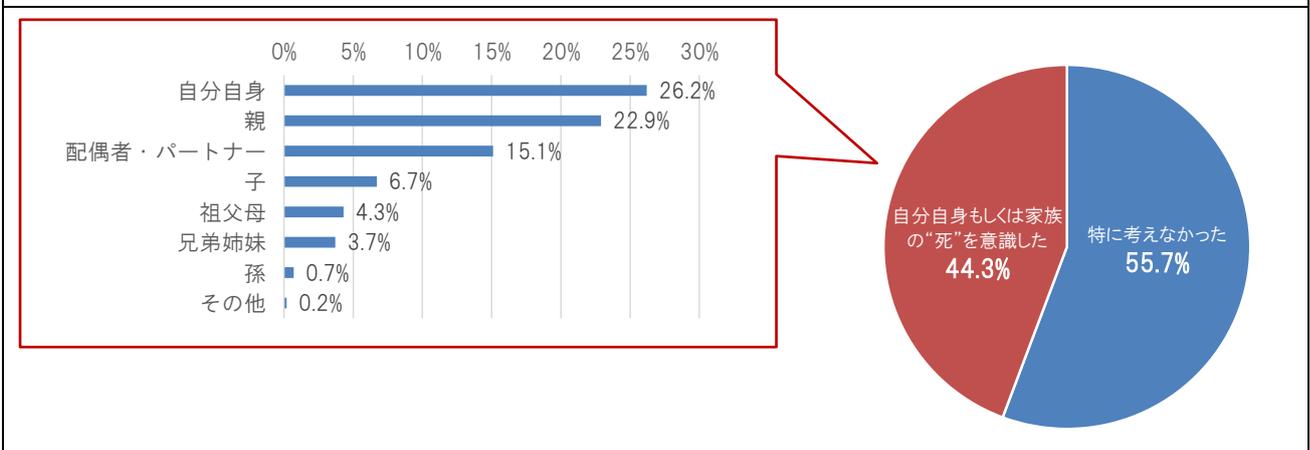


(4) 新型コロナウイルスをきっかけに、自分自身、もしくは家族の“死”を意識した人は半数近く。

特に自分自身の“死”を意識した人は、家族との話し合いを進んで行っている傾向。 (Q4 参照)

新型コロナウイルスをきっかけに自分自身、もしくは家族の“死”について意識したと回答した人は全体の約半数となった。

Q4 新型コロナウイルスをきっかけに、あなた自身、もしくはあなたの家族の“死”について意識しましたか？ 【複数回答可】 (n=1,127)



■年齢別の特徴

どの年齢層においても 20%以上の人が、自分自身の“死”について意識していた。

	n	Q4 新型コロナウイルスをきっかけに、あなた自身、もしくはあなたの家族の“死”について意識しましたか？							
		自分自身	親	配偶者・パートナー	子	兄弟姉妹	祖父母	孫	その他
20歳～29歳	219	25.1%	24.2%	16.0%	7.8%	5.5%	9.6%	0.5%	0.0%
30歳～39歳	234	27.4%	21.4%	17.5%	9.4%	4.3%	8.1%	1.3%	0.4%
40歳～49歳	209	21.1%	29.7%	10.0%	5.7%	3.8%	2.9%	0.5%	0.5%
50歳～59歳	230	24.3%	28.7%	14.3%	4.8%	1.7%	0.9%	0.0%	0.0%
60歳以上	235	32.3%	11.5%	17.0%	5.5%	3.4%	0.4%	1.3%	0.0%

■【Q3 家族と話し合ったこと】とクロス分析

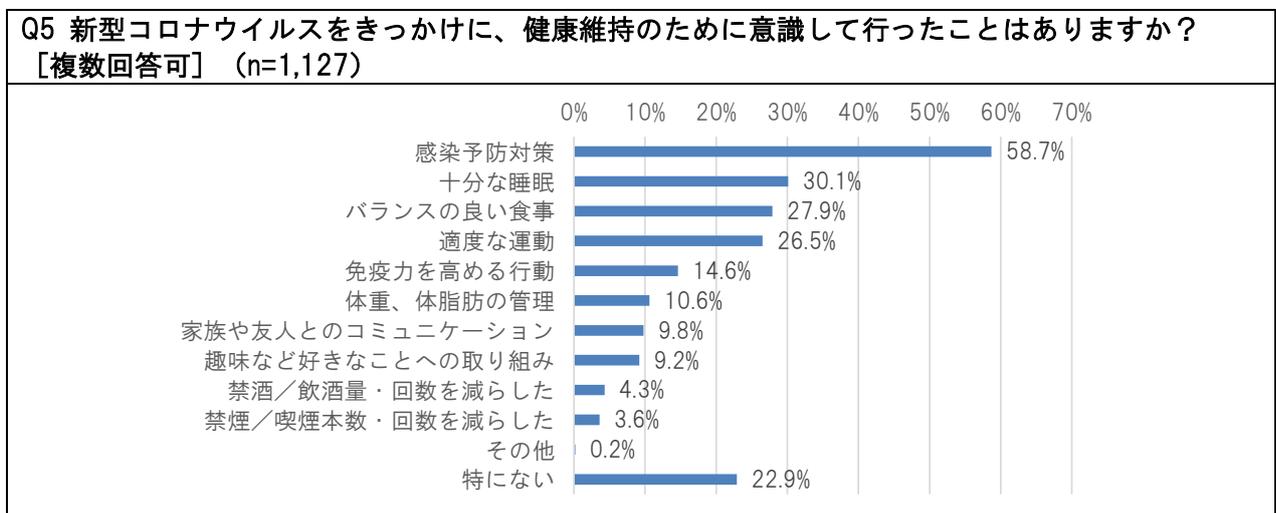
「自分自身の最期(看取り)」について家族と話し合った人のうち 92.3%の人が自分自身の死を意識していた結果となった。

	n	Q4 新型コロナウイルスをきっかけに、あなた自身、もしくはあなたの家族の“死”について意識しましたか？								
		自分自身	親	配偶者・パートナー	子	兄弟姉妹	孫	祖父母	その他	
Q3 新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合ったことは何ですか？	感染予防対策について	518	36.1%	30.1%	19.7%	9.3%	4.2%	0.8%	4.6%	0.0%
	感染した場合の対応について	225	47.1%	34.7%	36.0%	15.6%	7.1%	2.2%	6.2%	0.0%
	健康管理について	321	41.7%	31.5%	26.5%	12.5%	5.6%	1.6%	5.9%	0.0%
	食生活について	169	46.7%	34.3%	26.0%	13.6%	10.1%	3.0%	7.7%	0.0%
	帰省、訪問の自粛について	249	33.7%	34.1%	22.9%	11.6%	6.4%	1.6%	8.8%	0.4%
	お金の心配、不安について	151	45.0%	39.7%	29.8%	16.6%	13.2%	2.0%	11.9%	0.0%
	特別定額給付金の使い道について	186	40.9%	45.2%	26.3%	12.9%	9.1%	2.7%	9.7%	0.0%
	自身や家族の仕事、職場環境について	140	47.1%	45.0%	33.6%	17.9%	10.7%	2.1%	12.9%	0.0%
	子どもの学校、学習について	98	36.7%	40.8%	28.6%	18.4%	8.2%	3.1%	10.2%	0.0%
	自分自身の最期(看取り)について	39	92.3%	48.7%	53.8%	33.3%	23.1%	12.8%	17.9%	0.0%
	家族の最期(看取り)について	39	76.9%	64.1%	64.1%	41.0%	15.4%	7.7%	20.5%	0.0%
	その他	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	特になし	349	11.2%	9.7%	4.3%	0.9%	1.4%	0.0%	2.9%	0.0%

(5) 新型コロナウイルスをきっかけに、健康維持のために行ったこと第1位は「感染予防対策」。

「睡眠」「食事」「運動」は約3割が意識。(Q5 参照)

新型コロナウイルスの「感染予防対策(58.7%)」が、健康維持のために最も多く行われている結果となった。「十分な睡眠(30.1%)」「バランスの良い食事(27.9%)」「適度な運動(26.5%)」の回答はいずれも約3割となり、一定数が意識的に取り組んでいる様子がうかがえた。



(6) 保険（死亡保険、医療保険）に対する意識は年齢層により差。

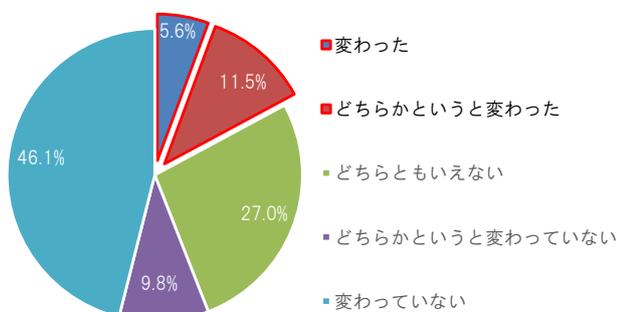
20代は「保険料を今より抑えたい」、60代は「現状に見合った保険に新たに加入しようと思った」。(Q6、Q7 参照)

新型コロナウイルス流行下の今、保険（死亡保険・医療保険）に対する考え方が変わったと回答した人は全体の17.1%となり、年齢別では20代（27.3%）が最も多く、年齢が上がるにつれて意識の変化が少ない傾向がみえた。

考え方が変わった理由としては「保険の重要性を感じた（51.3%）」「保険への関心が高まった（49.7%）」がともに約半数の回答を得て上位となった。項目・年齢別にみると「保険料を今より抑えたいと思った」は20代の36.0%、「現状に見合った保険に新たに加入しようと思った」は60代の39.8%が最多となった。

※「変わった」は「どちらかというと変わった」を含む数値

Q6 新型コロナウイルス流行下の今、保険（死亡保険・医療保険）に対する考え方は変わりましたか？ (n=1,127)

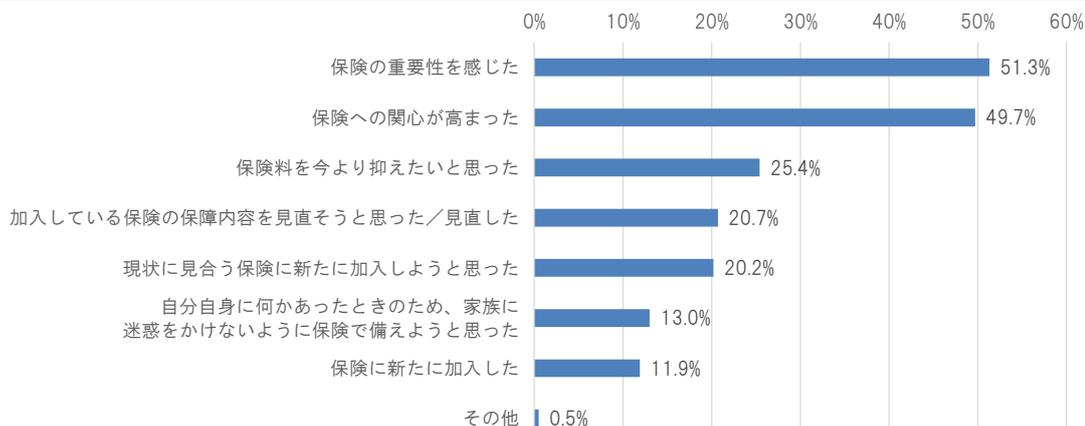


■年齢別の特徴

「変わった」は20代（27.3%）が最も多く、年齢が上がるにつれて「変わっていない」傾向がみえた。

年齢	n	変わった・ どちらかというと変わった	どちらともいえない	変わっていない・ どちらかというと変わっていない
20歳～29歳	219	27.3%	28.4%	44.3%
30歳～39歳	234	23.1%	31.6%	45.3%
40歳～49歳	209	15.2%	27.9%	57.0%
50歳～59歳	230	12.2%	24.8%	63.0%
60歳以上	235	8.1%	22.6%	69.4%

**Q7 《Q6で「変わった」「どちらかというと変わった」と回答した方にうかがいます》
保険（死亡保険・医療保険）に対する考え方はどのように変わりましたか？ [複数回答可] (n=193)**



■【年齢別】保険（死亡保険・医療保険）に対する考え方の変化

「保険料を今より抑えたいと思った」と最も多く回答したのも20代であった。また、「保険に新たに加入した」という行動に移した人が最も多い年齢も20代となった。（※赤枠）

年齢	n	保険の重要性を感じた	保険への関心が高まった	保険料を今より抑えたいと思った	加入している保険の保障内容を見直そうと思った/見直した	現状に見合う保険に新たに加入しようと思った	自分自身に何かあったときのため、家族に迷惑をかけないように保険で備えようと思った	保険に新たに加入した	その他
20歳～29歳	60	42.9%	46.6%	36.0%	17.2%	16.0%	12.6%	19.7%	2.0%
30歳～39歳	54	58.7%	46.2%	23.9%	26.3%	17.1%	13.8%	14.0%	0.0%
40歳～49歳	32	48.2%	58.5%	28.6%	24.5%	18.1%	14.2%	3.9%	0.0%
50歳～59歳	28	54.1%	60.3%	11.1%	18.8%	21.6%	13.9%	11.1%	0.0%
60歳以上	19	51.2%	39.8%	9.1%	13.7%	39.8%	10.8%	0.0%	0.0%

(7) 新型コロナウイルスによる変化は女性に多くみられ、感染予防対策にも積極的な傾向

全質問をとおして、新型コロナウイルスをきっかけとした意識・行動の変化や、感染予防対策への積極性は女性に多くみられた。

■男女別回答率

・男女差が10%以上の項目（一部抜粋、各設問の赤枠）

質問・回答	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563
【Q1】 新型コロナウイルスの流行下で、心配なことは何ですか？			
新型コロナウイルスがいつ収束するかわからないこと	54.2%	49.1%	59.3%
病院へ行きづらいこと	23.8%	18.4%	29.1%
【Q2】 新型コロナウイルスをきっかけに、始めたことは何ですか？			
こまめな手洗い、手指消毒	67.7%	62.6%	72.8%
外出時のマスク着用	77.8%	72.3%	83.3%
家の片づけ、整理整頓	14.8%	9.4%	20.2%
【Q5】 新型コロナウイルスをきっかけに、健康維持のために意識して行ったことはありますか？			
バランスの良い食事	27.9%	22.5%	33.2%

・各設問の男女差

【Q1】 新型コロナウイルスの流行下で、心配なことは何ですか？	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563	【Q2】 新型コロナウイルスをきっかけに、始めたことは何ですか？	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563
自分自身が新型コロナウイルスに感染すること	73.8%	70.7%	76.9%	こまめな手洗い、手指消毒	67.7%	62.6%	72.8%
家族が新型コロナウイルスに感染すること	69.2%	64.9%	73.5%	外出時のマスク着用	77.8%	72.3%	83.3%
新型コロナウイルスがいつ収束するかわからないこと	54.2%	49.1%	59.3%	室内でのマスク着用	17.1%	15.8%	18.5%
自粛による疲れ・ストレス	29.9%	26.4%	33.4%	毎日の検温（体温測定）	23.6%	22.5%	24.7%
予防対策への疲れ・ストレス	26.5%	23.6%	29.5%	日用品、食料品のまとめ買い	18.5%	13.8%	23.3%
災害時の避難場所の確保	11.4%	9.9%	13.0%	購入品や宅配物の洗浄、消毒、除菌	11.2%	8.3%	14.0%
病院へ行きづらいこと	23.8%	18.4%	29.1%	キャッシュレス決済	16.1%	14.9%	17.4%
運動不足による体力の低下	19.5%	17.2%	21.8%	通信販売の積極的な利用	9.5%	7.1%	11.9%
子どもの教育がこれまで通りにできないこと（学校・習い事含む）	8.3%	6.9%	9.6%	家の片づけ、整理整頓	14.8%	9.4%	20.2%
高齢者の重症化率が高いこと	23.2%	22.0%	24.3%	家計の見直し	6.9%	5.1%	8.7%
高齢者の認知機能の低下	8.6%	7.3%	9.9%	保険の新規加入・見直し	2.8%	2.3%	3.4%
コミュニケーション機会の減少	18.1%	16.5%	19.7%	健康維持のための運動	8.6%	6.9%	10.3%
各種イベントのオンライン化（無観客配信含む）	10.8%	9.9%	11.7%	新しい趣味や学習	5.5%	5.5%	5.5%
旅行がしづらいこと	39.3%	37.4%	41.2%	リモートイベント、テレビ電話の利用（飲み会、帰省等）	7.1%	7.3%	6.9%
帰省がしづらいこと	16.5%	15.6%	17.4%	テレワーク、在宅勤務	11.4%	14.0%	8.7%
就業・雇用への不安	13.8%	11.5%	16.2%	インターネット環境の整備	4.3%	5.0%	3.6%
収入の減少	22.2%	21.3%	23.1%	スマートフォン、パソコンなどの新規購入・買い替え	4.7%	3.7%	5.7%
家計の支出の増加	14.2%	12.2%	16.2%	終活	2.8%	2.1%	3.4%
貯蓄の減少	13.8%	13.8%	13.9%	副業	2.8%	2.8%	2.8%

Press Release

【Q3】 新型コロナウイルスをきっかけに、家族と話し合ったことは何ですか？	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563
感染予防対策について	46.0%	45.2%	46.7%
感染した場合の対応について	20.0%	18.8%	21.1%
健康管理について	28.5%	26.2%	30.7%
食生活について	15.0%	14.4%	15.6%
帰省、訪問の自粛について	22.1%	22.0%	22.2%
お金の心配、不安について	13.4%	12.1%	14.7%
特別定額給付金の使い道について	16.5%	13.5%	19.5%
自身や家族の仕事、職場環境について	12.4%	10.6%	14.2%
子どもの学校、学習について	8.7%	7.4%	9.9%
自分自身の最期（看取り）について	3.5%	3.4%	3.6%
家族の最期（看取り）について	3.5%	3.2%	3.7%

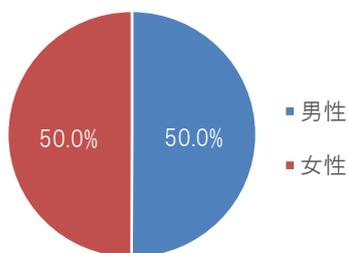
【Q4】 新型コロナウイルスをきっかけに、あなた自身、もしくはあなたの家族の“死”について意識しましたか？	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563
自分自身	26.2%	24.5%	27.9%
配偶者・パートナー	15.1%	13.3%	16.9%
親	22.9%	21.5%	24.3%
子	6.7%	5.9%	7.5%
祖父母	4.3%	3.0%	5.7%
兄弟姉妹	3.7%	3.4%	4.1%
孫	0.7%	0.9%	0.5%

【Q5】 新型コロナウイルスをきっかけに、健康維持のために意識して行ったことはありますか？	全体 n=1,127	男性 n=564	女性 n=563
感染予防対策	73.8%	55.0%	62.5%
適度な運動	69.2%	25.2%	27.9%
十分な睡眠	54.2%	27.0%	33.2%
バランスの良い食事	29.9%	22.5%	33.2%
体重、体脂肪の管理	26.5%	7.6%	13.7%
禁煙／喫煙本数・回数を減らした	11.4%	3.5%	3.7%
禁酒／飲酒量・回数を減らした	23.8%	4.6%	4.1%
免疫力を高める行動	19.5%	12.1%	17.1%
家族や友人とのコミュニケーション	8.3%	7.8%	11.9%
趣味など好きなことへの取り組み	23.2%	7.3%	11.2%

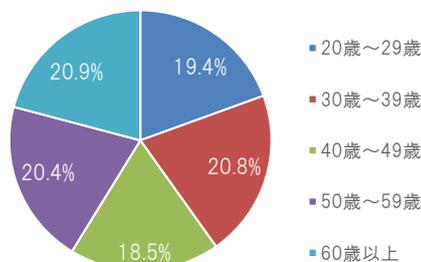
以上

■ アンケート回答者属性

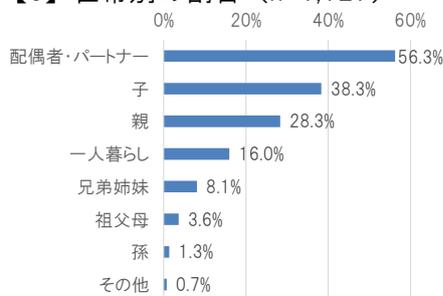
【1】 男女別の割合 (n=1,127)



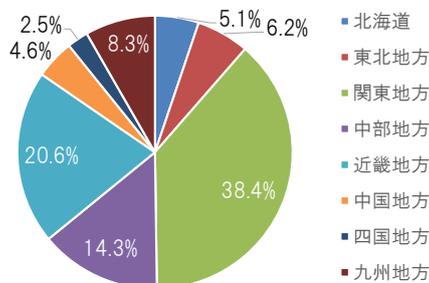
【2】 年齢別の割合 (n=1,127)



【3】 世帯別の割合 (n=1,127)



【4】 地域別の割合 (n=1,127)



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。